

舞鶴の空き店舗・空き地活用

高専生アイデア発表

舞鶴高専は15日夜、舞鶴市の東舞鶴地区商店街にある空き店舗、空き地の活用策の提案報告会を同市で開き、学生らがゲストハウスや店舗付き集合住宅のプランを発表した。

報告会は八島商店街にある同高専の研究所、商店街ラボ「よろず」で開かれた。専攻科2年生と建設システム工学科5年の2人が店舗付き集合住宅を、同科4年の5人がゲストハウスを発表した。

同科4年の中村公音さん

(19)の提案は、ゲストハウス「舞宿」。空き店舗をリノベーションして1階にカフェを設け、観光情報などを提供するスペースも併設する。「宿泊や飲食に若者が集まれば商店街活性化につながる。自分の家のようにくつろいでもらいたいと名付けた」という。一方、専攻科2年の白髭優さん(22)は、八島公園の向かいに店舗付き高齢者住宅を提案。「公園から人を引き寄せ

るため、真ん中に空間をつくり、にぎわい空間となるデッキも設けた」という。指導した尾上亮介教授は「ゲストハウスは商店街の可能性の一つとして考えて

もらった。集合住宅は、高齢者向けにバリアフリー構造にするには規模を大きくしないと効率が悪いので、大規模になったようだ」と話していた。



商店街の店舗付き集合住宅のプランを模型を使って説明する舞鶴高専の学生＝舞鶴市浜